



6月のえんだより

こども未来局
保育・子育て推進部

令和7年6月1日 大島保育園



今月の予定



- 2日(月) 歯科健診
- 7日(土) クラス懇談会
(さくらんぼ・もも・ばなな組)
- 11日(水) プール前健診(りんご・みかん組)
- 16日(月) 聖学院実習生 ~26日(木)
- 17日(火) シャワー開始
- 25日(水) 水あそびはじめ
サマーフェスタ 1日目(幼児)
- 26日(木) サマーフェスタ 2日目(幼児)
フォトステップ写真撮影(幼児)



今月の保育目標

- 乳児 室内遊びを楽しみ
梅雨期を気持ちよく過ごす
- 幼児 梅雨期を健康に過ごしなが
ら室内遊びを楽しむ



☆地域支援・関係機関との行事☆

- 5日(木) さらら保育室 交流保育
- 6日(金) さらら保育室 連携保育
- 19日(木) おにわであそぼう
- 24日(火) 臨港中学校出張講座
- 26日(木) 小さなおはなし会



おおしま 日和

新しいクラスでの生活にもすっかり慣れて、元気いっぱいに過ごしているばなな組の子どもたち。2階から1階のお部屋になって見える景色も変わり、いろんなことに気づいて「あれはなに?」「これで遊んでみたい!」とわくわくがいっぱいの毎日です。“何をして遊ぶか”も大切ですが、“誰と遊ぶか”も大切で、「〇〇ちゃん、一緒に遊ぼう!」と誘いあって過ごしています。遊びの場面だけではなく、泣いている子がいると「どうしたの?」と声をかけたり、「〇〇ちゃんのところに来て」と保育者に知らせてくれたり、お友だちが困っている時にも寄り添ってくれます。お友だちへの優しさが感じられて、見守っていて嬉しくなります。そんな子どもたちのある日のエピソードです。

AくんとBくんが粘土をしていました。しばらく遊んだ後、Aくんは先に手を洗って粘土遊びを終わりにすると、保育者のところにきて「先生、早く(Bくんの隣に)座って」と腕をひきます。私は“Aくんと遊ぶのではなく、Bくんのところに座る・・・?なぜだろう?”と思いましたが、Aくんの気持ちを推測して、「Bくんが1人になっちゃうから心配なの?」と聞いてみると、“うん”と頷きました。自分が粘土を終わりにしたことで、お友だちが1人になってしまうので、保育者に隣に座ってもらおうと思ったようでした。遊び終わったあともお友だちのことを考えてくれたAくんの思いがとてもあたたかくて、可愛らしくて、ほっこりした場面でした。これからもお友だちを大切に思う気持ちを大事にしていってほしいなと思っています。(4歳児担任記)



木育だより

NO.1

大島保育園

大島保育園の“木育”とは？

「木っていいよね、大切にしたいよね。」

この思いから、令和元年より大島保育園は木育に取り組み始めました。

木育とは「木と触れ合い、木に学び、木と生きる」取り組みのことです。木育を通して、人と木や森との関わりを考えることができる、豊かな心を育みたいと思っています！

まずは木のおもちゃや自然物で遊びながら「五感を刺激し、感性豊かな心の発達を促す」木育を、子どもたちとたくさん楽しんでいきたいと思っています。

木育は子ども達に大切な5つの力が育つよ！！

樹と木のつながりを 感じる力が育ちます

身近な樹や葉、実や花に興味を持つことで、樹木と暮らしの中の木とのつながりを感じる力が育ちます。

ものを大切にする心が 育ちます

木は自然が育んだ「命」であることに気づき、木で作ったものに愛着を持ち大切にすることを育ちます。

工夫する力が育ちます

指を使い、音を聴き、匂いを嗅ぎ、五感を総動員して木に向かい表現することを通して想像力と創造力を育みます。

根気や、やる気が育ちます

自然素材の木でつくるとはじっくり取り組む必要があり、根気が育ち、達成感を得ることができます。それは自信へとつながり、新たな課題に挑戦する力が育ちます。

協力する心、気遣う心が 育ちます

助け、助けられながら、つくり上げることにより、感謝の心や協力する心が生まれます。

木の広場(きのひろば)

木育掲示板(もくいくけいじばん)

「きのひろば」の看板がめじるし！
1階玄関ホールから廊下にかけて木育の掲示スペースがあります。
季節の自然物や生き物、木育の作品を展示していきます。
送迎時にぜひお子さんと一緒に見てください♪
今後もお楽しみに！

今は蝶のさなぎが たぁ～くさん！！

すいか組の部屋で観察していた蝶の青虫。職員の老眼鏡にくっついてさなぎになってしまいました(笑)

そんな楽しいエピソードと共に「きのひろば」に展示されています。「さなぎはいくつあるのかな」「次はどのさなぎが

ちょうちょになるかな？」等、お子さんとの会話が広がりますね。

